

ニエース明誠

Meisei High School
SINCE 1957

新課程・入試制度決定

新しい入試制度としてAO入試を取り入れる。AO入試は、学力では測れない個性豊かな人材を求めることが目的で、目的意識や熱意・意欲を重視し、面接に時間をかけて選考するシステムである。AO入試を受験するためには、9月から始まった「AOエントリー」、11月からの「AOセミナー」を受ける必要がある。12月に入試を実施し、年内に合格を判定し、通知をする。また、コース制をスタートさせる。

新コース制を導入 AO入試スタート!!

- 新コース制**
- 【普通科】**
【特進コース】
7時間目・土曜日・長期休暇を利用して、3年間で1500時間を超える授業時間数を確保し、実力をつける。
 - 【スポーツ・一般コース】**
スポーツに関する科目と一般科目が選択できるようにカリキュラムを組んでいる。
 - 【福祉科】**
【介護福祉コース】
卒業と同時に介護福祉士の国家受験資格、訪問介護員1級または2級の資格が取得でき、施設就職に有利である。
 - 【看護・保育コース】**
進路にあわせた実習を取り入れ、進学をして看護師、保育を目指す人にお勧めのコースである。介護福祉士の国家受験資格、訪問介護員の資格も取得可能である。
 - 【情報科】**
【進学キャリアコース】
上級資格取得を目指し、進学就職を目指す。
 - 【CGアニメーションコース】**
コンピュータグラフィックスやアニメーションの基礎知識を学び、専門分野への進学や就職を目指す。
 - 【経営ビジネスコース】**
経営の基礎知識を習得し、将来企業家としての夢を育むと共に、ビジネスマナーや市場分析能力の向上を図る。



一生心に残る交流 3回目も大成功! 韓国研修旅行

10月11日から3泊4日の日程で、2年生(119名)が韓国研修旅行をおこなった。学年全体での韓国研修旅行は今年で3回目。毎年充実した研修プログラムで満足度の高い旅行と評判である。今回も平和教育として、板門店見学。大東情報産業高校との交流会、学科別研修では、情報科は市場へ市場調査、福祉科は福祉施設訪問交流、普通科は姉妹校韓進高校訪問交流など体験型の研修、楽しい観光、美味しい食事、クラスメートや先生とのふれあいで、旅行後の生徒アンケートによると90%以上の生徒が旅行に満足したと回答した。今後は旅行の内容をまとめ、11月25日(土)に生徒による報告会が予定されている。



ページ更新率 100%達成

7月3日明誠高校ホームページが刷新され、現在までほぼ毎日更新中である。学校内外の様子を毎日ホットな情報満載で紹介され、これを見れば学校の様子が手に取るようにわかる。ぜひご覧いただきたい。(アドレスは上記に記載)

研修旅行を前に 事前学習開催

今回で3年目を向かえる韓国研修旅行事前学習として韓国語学習を行った。島根県立大学に通う留学生、李定受(イジョンミン)さんと朴炯奎(パクヒョンギウ)さんの二人を講師に招き、韓国語の習得を中心に、韓国の歴史、文化などについて学んだ。韓国研修旅行では交流会行事において、授業での成果が活かされた。

年に一度の大イベントである向日祭(販売実習・体育祭)が両日も好天に恵まれ、盛大に行われた。特に体育祭では前夜から大雨で開催延期も危惧されたが、みんなの熱い思いが天に届いたのか、朝にはカラッと晴れ上がり、最高のコンディションとなった。夏休み返上で準備にあたった3年生を中心に5分目に分かれ、全22種目に渡って熱い戦いが行われた。開会式で選手宣誓を行った緑組分団長岡本巧君は「準備等、とても大



変だっただけとても充実した一日の体育祭になった」と感想を述べた。学園祭テーマ「One Day in Meisei」を心不乱に咲き誇れ「のごく生徒たちは若い情熱を傾けた。

9月30日(土)、松江市の島根県民会館において島根県私学振興大会が行われ、本校からは保護者、教職員あわせて42名が参加した。大会は三浦



雅代本校PTA会長の司会により進行され、私学教育の充実向上に向け、講演、学習発表などが行われ、大変有意義な大会となった。

みんなで勝ち取った入賞!

06総体(国体)近畿全高校総体卓球競技。明誠高校卓球部にとって女子団体第5位という素晴らしい結果を残せた。岸卓臣監督が報道陣の取材に対し、「島根の力でも勝てることを証明できた」と話した。最近の高校スポーツでも同じように、全国トップを争う学校は、強化体制の充実を図り、中学校時代活躍した選手を集める傾向にある。もちろん卓球競技においても中国人選手(アドレッシングは上記に記載)

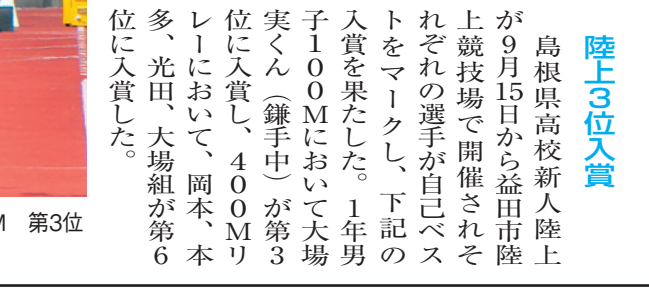


国体島根県代表の大庭・多久和・町田(左から)

もう来年のインターハイに向けた戦いが始まっている。本校から少年女子島根県代表として3年町田詩歩(境川中)、2年大庭咲陽子・多久和里香(益田中)が出場した。島根県は2回戦からの登場で、前日東京都を破って勢いに乗る高知県との対戦となり、互角の展開はしたもののあと一本が決まらず初戦敗退となった。選手は最後まで島根県の名譽を担いよく戦った。大場・多久和はまだ2年生、来年の活躍に期待したい。

全日本卓球へ3名
全日本卓球選手権県予選が9月15日から浜田市県立体育館で開催され、3名が来年1月東京で開催される全日本大会の出場権を獲得した。

混合ダブルス
第2位 大内・大庭組
男子一般
第4位 大内 健裕
女子一般
第1位 大庭咲陽子
第3位 桑原真帆花
第3位 多久和里香
ベスト8
町田詩歩・千崎真耶
※赤字が全日本選手権出場権獲得



ご案内
芸術鑑賞・弁論大会 平成18年11月1日(水)
スポーツ講演・教室
講師 永島 昭浩氏
韓国研修旅行報告会 平成18年11月25日(土)
オープンスクール 予告!
第1回 平成18年11月5日(日)
第2回 平成18年11月12日(日)
第3回 平成18年11月19日(日)
第4回 平成18年11月26日(日)

若い情熱を傾けた学園祭

10月12日(木)秋晴れの下、貸しきりバスで明誠高校を出発し、大社町「島根ワイナリー」に到着。工場見学をした後、パーベキューを楽しみ、各クラスに分かれて職場体験に出発した。訪問した企業は、情報

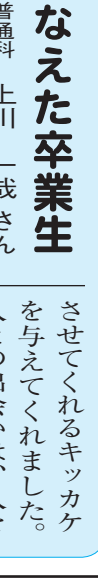
1年生職場体験実施 進路選択を考えた1日

10月12日(木)秋晴れの下、貸しきりバスで明誠高校を出発し、大社町「島根ワイナリー」に到着。工場見学をした後、パーベキューを楽しみ、各クラスに分かれて職場体験に出発した。訪問した企業は、情報

特集 夢をかきた卒業生

平成16年度卒業生 普通科 上川 一哉さん
今回は、一昨年普通科を卒業した上川一哉さん(横田中)を紹介する。上川さんは、日本最高峰の劇団である「劇団四季」の超難関と言われている入団試験に見事合格し、ただ今活躍中。ぜひ将来は、「劇団四季」のトップ

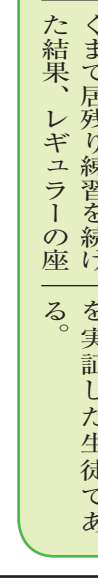
この仕事を始めて2年、かつ楽しんでるものはありませんでした。でも、その中で体験したこととは、自分を舞台人としても、人間としても成長



努力は裏切らない!

3年普通科 桑原真帆花さん(末部中)
重ねがあった。桑原さんは、中学時代はまったくの無名選手。卓球が好きで入学したが、1年時は練習についていくのがやっと。2年時の全国総体でも選手のカバン持ち。だが、「3年生では自分も全国舞台に立ちたい」との一心で、毎晩遅くまで居残り練習を続けて結果、レギュラーの座

を獲得。ところが今年冬、朝練習中に足を骨折。絶望の縁に立たされたが、ギブスをしながらも可能な練習を黙々と続けた。そして春に再びレギュラー復帰。今回事業な活躍となった。これは卓球部員のみならず、全校生徒に夢と希望を与えるものであり、まさしく「努力は裏切らない!」を実証した生徒である。



ピックアップ student!

重ねがあった。桑原さんは、中学時代はまったくの無名選手。卓球が好きで入学したが、1年時は練習についていくのがやっと。2年時の全国総体でも選手のカバン持ち。だが、「3年生では自分も全国舞台に立ちたい」との一心で、毎晩遅くまで居残り練習を続けて結果、レギュラーの座

を許してくれるキッカケを与えてくれました。人との出会いは、人を大きくします。感謝の気持ちを忘れずこれからも頑張っていきたいと思えます。

